

# 1. 家族で防災に取り組みましょう

日頃から災害に備えて、家族で話し合きましょう。

## ① 緊急連絡方法を決めておきましょう。

災害時の緊急連絡方法は、**災害用伝言ダイヤル171**※やインターネットで登録できる**災害用伝言板 web171**※などがあります。どの手段をとるのかを決めておきましょう。（※裏表紙をご確認ください）

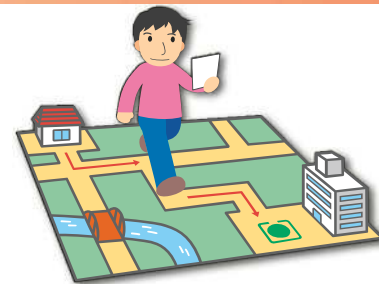
小さなお子さんがあるご家庭では、幼稚園や保育園などとお子さんの引き渡しルールを確認しておきましょう。



## ② 避難場所、避難所までの避難経路を確認しましょう。

防災マップを持って家族で避難場所、避難所まで実際に歩いてみましょう。

安全で避難しやすい経路を枠内に書き込んでみましょう。



わが家の避難経路図 避難場所、避難所【 】

Large grid area for drawing the family's evacuation route.

## ③ 非常持出品、非常備蓄品の準備をしましょう。

### 非常持出品（避難所まで無理なく持って歩ける量を準備しましょう）

**小さなお子さんがあるご家庭では**  
避難所では乳幼児向けの物資が手に入りにくい場合もあるため、以下の物なども準備しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 通帳・印鑑	<input type="checkbox"/> 携帯電話充電器	<input type="checkbox"/> オムツ 衛生用品 生理用品など	<input type="checkbox"/> 離乳食 おやつ
<input type="checkbox"/> 衣類・タオル	<input type="checkbox"/> 免許証・健康保険証 現金	<input type="checkbox"/> 非常用食料	<input type="checkbox"/> 抱っこひも おんぶひも
<input type="checkbox"/> 救急医薬品 常備薬	<input type="checkbox"/> 水(500ml×6本程度)	<input type="checkbox"/> 粉ミルク 哺乳瓶	<input type="checkbox"/> おもちゃ 絵本など
<input type="checkbox"/> マスク、 手指消毒用 アルコール、 体温計	<input type="checkbox"/> ラジオ・懐中電灯		

### 非常備蓄品（家族が最低3日間は過ごせるように備蓄しましょう）

普段から食料品やトイレトペーパー、ラップなどを少し多めに購入し、古い順に使っていくと自然と備蓄することになります。

<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 缶詰類		
<input type="checkbox"/> アルファ化米	<input type="checkbox"/> インスタント食品		
	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ ガスボンベ		

その他必要なものを家庭で検討し、上の欄に書き出しておきましょう。

## ④ 災害に役立つ情報源を確認しておきましょう。

緊急時に情報が届くよう事前登録をしましょう。  
事前登録を行うと災害などの緊急情報が、町や県からメールで配信されます。

### 多賀町総合情報配信システム（町）

防犯・火災・災害など  
[touroku@taga-town.jp](mailto:touroku@taga-town.jp)

【登録方法】右のQRコードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。



### しらがメール（県）

避難情報、河川水位情報、土砂災害警戒情報など  
[entry@pref.shiga-info.jp](mailto:entry@pref.shiga-info.jp)

【登録方法】右のQRコードを読み取り、空メールを送信し、登録してください。



そのほか風水害に役立つ情報はP21～P22をご覧ください。

### ⑤ 家の防災対策

#### 風水害対策

**屋根**

- アンテナは不安定ではないか。
- トタンがめくれていないか。
- 瓦のひび・割れ・はがれがないか。

**窓**

- 窓枠にがたつきはないか。
- 雨戸にがたつきはないか。

**雨どい**

- 雨どいに落ち葉などが詰まっていないか。
- 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ、腐りはないか。

**排水溝**

- 排水溝にごみや土砂が詰まっていないか。

**家財**

- 貴重品や思い出のものは、すぐに持ち出せるようになっているか。
- 濡れて困るものは、あらかじめ高い場所へ移動しているか。

**その他**

- 商店などでは看板のぐらつきがないか。
- ごみ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか。
- 庭木には添え木をしているか。
- ブロック塀はくずれそうにないか。
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定しているか。

**ベランダ**

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険のあるものはないか。

**外壁**

- 壁に亀裂はないか。

#### 地震対策(耐震化、家具の固定・配置)

**家の耐震性を確認し、耐震化をしましょう**

わが家の「耐震性」を点検し、「耐震補強」をして、より安心・安全な地震対策を行きましょう。町では木造住宅の耐震改修費を一部補助します。詳しくは多賀町ホームページ「住まいの地震対策」をご覧ください。

**家具の配置に注意しましょう**

寝室には倒れそうな家具を置かない。扉をふさぐような配置をしない。

**家具が倒れないように固定しましょう**

家具やテレビなどを固定し、転倒や落下を防止する。

## 2. 地域で防災に取り組みましょう

### ① 自主防災組織への参加

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に連携して防災活動を行う組織です。町では自治会などを中心に結成されています。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災活動に取り組みましょう。



#### 多賀町総合防災訓練

多賀町では、防災意識の高揚を図り、災害時に的確な対応ができるように、各防災機関、地域住民などの皆さんと連携して総合防災訓練を実施しています。



### ② 避難行動要支援者の支援

町では、高齢者、障がい者、傷病者の方など災害時に支援を必要とする方たちを対象とした、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。

この名簿による情報で、消防機関、警察、民生委員児童委員、町社会福祉協議会、区長などと共有し、災害発生時に避難支援ができるよう円滑な実施に向けて取り組んでいます。



避難行動要支援者とは… 要配慮者のうち、災害時に自力で避難できないなど、避難支援が必要な高齢者、障がい者、傷病者の方など。



### 3. マイ・タイムラインを作りましょう

以下の記載例を参考に、右のマイ・タイムラインに必要事項を書き込みましょう。

**風水害時の行動**

避難情報など	状況・住民がとるべき行動	私の防災行動
警戒レベル5 緊急安全確保	災害発生または切迫 命の危険 直ちに安全確保！	
↑		
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難！〉~~~~~		
警戒レベル4 避難指示	災害のおそれ高い 危険な場所から 全員避難	家族全員 ●●へ避難する (家族全員に連絡)
警戒レベル3 高齢者等避難	災害のおそれあり 危険な場所から 高齢者等は避難	祖母を連れて ●●へ避難する (家族全員に連絡)
警戒レベル2 大雨・洪水注意報	気象状況悪化 自らの 避難行動を確認	非常持出品、非常備蓄品の 確認 家族全員の居場所を確認
警戒レベル1 早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ 災害への 心構えを高める	気象情報を確認する

ハザードマップを見て、自宅の災害リスクを確認しましょう。

準備、把握できたらチェックしておきましょう。

各警戒レベル時に何をするかを書き込みましょう。

**自宅の災害リスクを書き出しましょう**

- 土砂災害警戒区域内にある  ない
- 浸水想定着色区域内にある  ない (浸水深: 2.0 ~ 5.0 m)
- その他の危険要因 ( 特になし )

**避難する際の感染症対策**

避難する際に心がけること

- マスク・消毒液・体温計はできるだけ自ら携帯する。
- 避難先の候補として、安全な親戚・知人宅に避難することも考える。
- 避難先でも、密の回避、手指消毒の徹底、咳エチケットなどを徹底する。

**風水害時の行動**

避難情報など	状況・住民がとるべき行動	私の防災行動
警戒レベル5 緊急安全確保	災害発生または切迫 命の危険 直ちに安全確保！	
↑		
~~~~~〈警戒レベル4までに必ず避難！〉~~~~~		
警戒レベル4 避難指示	災害のおそれ高い 危険な場所から 全員避難	
警戒レベル3 高齢者等避難	災害のおそれあり 危険な場所から 高齢者等は避難	
警戒レベル2 大雨・洪水注意報	気象状況悪化 自らの 避難行動を確認	
警戒レベル1 早期注意情報	今後気象状況悪化のおそれ 災害への 心構えを高める	

**自宅の災害リスクを書き出しましょう**

- 土砂災害警戒区域内にある  ない
- 浸水想定着色区域内にある  ない (浸水深: m)
- その他の危険要因 ( )

**避難する際の感染症対策**

避難する際に心がけること

- マスク・消毒液・体温計はできるだけ自ら携帯する。
- 避難先の候補として、安全な親戚・知人宅に避難することも考える。
- 避難先でも、密の回避、手指消毒の徹底、咳エチケットなどを徹底する。

はじめに

地震編

風水害編

備える

はじめに

地震編

風水害編

備える